

科目名	幼児と造形表現			担当教員	桂川 成美
単位	1単位	講義区分	演習	ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	教育現場の経験を生かし、幼児の造形活動における保育者の役割について、幼児の表現の理解について、講義、演習を行う。				
到達目標及びテーマ	幼児教育における造形表現の意義と役割について考察するとともに、演習を通して、技法の理解、教材研究、保育者として求められる造形表現活動の能力を養い、制作活動の喜びを感じることができる。				
授業の概要	幼児に必要である「身体で感じる」造形活動を基軸に素材や技法の活用を考え、幼児とともに楽しむ造形活動を実践する。				

授業計画	
第1回	授業内容の説明， 教科の目的と内容の理解
第2回	版画① コラグラフまたはステンシル 技法と特徴を知る、発想
第3回	版画② コラグラフまたはステンシル 製版
第4回	版画③ コラグラフまたはステンシル 刷り
第5回	張子① 技法と特徴を知る・発想
第6回	張子② 紙を張り込む
第7回	張子③ 着彩
第8回	技法演習 幼児と楽しむ技法を知る①ウォッシング、糸引き絵、シャボン玉版画 技法の特徴を知る
第9回	技法演習 幼児と楽しむ技法を知る②特徴を踏まえて、色や重ね方を工夫して楽しむ
第10回	大きな材料を使った造形① ねらいの設定、計画
第11回	大きな材料を使った造形 ② 材料準備
第12回	大きな材料を使った造形 ③ 組み立て、制作
第13回	大きな材料を使った造形 ④ 中間発表 見直し
第14回	大きな材料を使った造形 ⑤ 制作、仕上げ
第15回	大きな材料を使った造形 ⑥ 発表

事前学修		指定用具の用意 必要な材料の用意 作例を調べる
事後学修		制作の工夫点をまとめる
フィードバックの方法	個別にコメントするほか、総合評価を説明する	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価		100%	授業への参加度50%、提出物50%
補足事項	授業への参加度とは、各課題の目標に対して意欲的な取り組みが見られるか、教室用具の取り扱いが適切か、持参する画材等の準備が十分かなど。 提出課題に未提出があった場合は失格となる。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考

なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	授業においてプリントを配布、「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」「保育所保育指針」			